

令和4年度第5回小平市社会教育委員の会議要録

と き：令和4年12月15日（木）午前9時30分～午前10時50分

と ころ：市役所6階 大会議室（WEB会議）

1 出席者

小平市社会教育委員 10人
傍聴者 なし

2 内 容

<議題>

資料に基づき、事務局から説明を行った。(2)について、各委員から参加した分科会の内容等に関して報告があった。

- (1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について（報告）
- (2) 第53回関東甲信越静社会教育研究大会 山梨大会について（報告）
- (3) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について（報告）

<事務局報告>

各課・各館より、実施事業等について報告した。

【地域学習支援課】

- (1) 令和4年度青少年健全育成講演会について（報告）
- (2) 第34回小平市青少年音楽祭について（報告）
- (3) 令和5年二十歳の集い（旧成人式）について
- (4) 第40回小平市中学校生徒意見発表会について

【公民館】

- (1) 公民館主催イベント（10月、11月）について（報告）
- (2) 公民館主催イベント（1月）について

【図書館】

- (1) 鈴木まもるさん講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ—鳥の巣がおしえてくれること—」
について（報告）
- (2) 第43回ふるさとの新聞元旦号展について

3 議題及び事務局報告についての意見・質疑応答

○委員 宗教団体は宗教団体であるということを明かさずに特定のサークル活動に誘ったりして歩み寄ってくる。大学生の場合はそれが多。そういった観点からサークル団体についても一応確認はしてい

るのか。

○事務局 まず、社会教育法において、政治、宗教、営利についての活動はできないということが公民館は定められている。仮に宗教について勉強する方たちのご利用は可能。学習ではご利用いただけるが、公民館をご利用いただく場合には、事前に登録をしてから活動していただくので、その登録の時点でどのような活動をされるかということを確認してご登録いただいている。「勧誘活動など、そういったものはできません。」ということを事前に説明しているので、そのような形でのご利用については制限している。

○委員 実際には、宗教活動などまず絶対に表には出さないし、かなり親しくなった段階でようやく明かすという形が多い。そういったこともご留意いただければと思う。学芸大も学生がよく使う SNS 関係でもいろいろな人が送ってきて親しくなって、それ以降、資料だけで、マルチ商法の類もかなりはびこったりする場合がある。

○委員 資料No.8の新しいサークル前年比で6団体増えそうだということで、ぜひ、活動していただきたいと思う。その中で、学習・課題解決系というジャンルが14団体あるが、どういうサークルなのか。

資料No.9で、大沼公民館まつりは、講演会などを実施しない予定ということだが、大沼公民館が実行委員会で決める判断というのは、公民館で決めていることなのか。

○事務局 学習・課題解決というジャンルのサークルさんを幾つかご紹介する。

熟年いきいき会、小平IT推進市民グループ、小平市女性のつどい、政治・知りたい、確かめ隊、小平市憲法を学ぶ会、憲法カフェ@なかまちテラス、市民サークル「憲法と生活」、九条の会・小平、後はNPO法人ふれあいアカデミー、NPO法人シニアネットクラブ、学び舎江戸東京ユネスコクラブなど。

講演会についての決定の方法ですが、各公民館のまつりの実行委員は公民館の友の会もしくは利用者懇談会の皆さんが主催者ということになる。実行委員会が今年はどうにするということを決定していくので、各公民館ごとの実行委員の皆さんで決定されているということになる。したがって、今年は音楽会もやりましょう、講演会もやりましょうという公民館もあれば、今年はやっとまだ3年ぶりでコロナ対策などで、どの程度できるか分からないので、講演会はやめておきましょうという判断をされて実施しない公民館がある。

○委員 今日は大変勉強になった。地域連携のこと、または地域を活性化させるためにさまざま皆様が連携し合って研究し合って進めていることを大変私も学ばせていただいた。最近の学校の様子を少しお伝えしておきたい。

コロナ対応をどんどん進めなければいけないという状況については変わりはないが、その中で、教育活動を止めないところを今年度はととも力を入れて警戒心を持って学校現場は進んでいる。

各運動会や学習発表会といった行事も今までのようにだんだん行われるようになってきて、3年ぶりに先日、小学校では連合音楽会を小平で開催することができた。とてもいい取組になったと思っている。そして、これから控えている卒業式、そして入学式も3年前に戻してしっかりこれまでどおりにそれを基軸に行っていこうということが校長会でも確認された。

なかなか地域連携、地域の方々に入っていて、学校教育を進めていくということが非常にやり

にくい、そういう状況でもあった。また、学校が地域に出ていくということについても、なかなかめ
らわれる。例えばお店体験であったり、地域探検であったり、そういったこともなかなかできにくい。
そういう状況があったが、感染症対策に配慮し、十分気をつけつつも、そういう教育活動を積極的に進
めていく方向で学校としては考えている。地域と学校と子どもたちと本当に教育のために手を携えて進
んでいけたらと思うので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。